

年間テーマ 過現未<過去・現在・未来>による防災対策

上総まちなか大学院／開講 <http://www.kofuza.com/html/act.html>

① 3.11／《過現未》キックオフ・イベント@太東崎灯台広場

② 4.11／過去から学ぶ・・究極の安全&防災対策とは？！

—脱原発運動と他の市民運動との違い—

講師：弁護士・河合弘之 <http://lawyer-kawai.com/denuclear>



◇日時 2021年4月11日（日）13:30～16:00

◇会場 大原文化センター大会議室（リアル定員40名）

【講座内容】河合弘之は、企業弁護士として活動しているが、社会問題として脱原発運動を行っている。本講座では、脱原発運動と他の市民運動との決定的な違いについて紐解く。映画『日本と原発』ほか、ドキュメンタリー映画を監督製作し市民に訴えている。原発ゼロ・自然エネルギー推進連盟（原自連）の幹事長・事務局長のほか、脱原発弁護団全国連絡会共同代表としても活動している。

- ③ 5.11／《現在》「フェーズフリーとは？」
- ④ 6.11／《未来》「森の防波堤が守ってくれる」
- ⑤ 7.11／《過去》「展望台&FM局付き発電風車」
- ⑥ 8.11／《現在》「フェーズフリーと防災レシピ」
- ⑦ 9.11／《未来》「森の防波堤の可能性（FS）」
- ⑧ 10.11／《過去》「洋上風力発電と産業の10次化」
- ⑨ 11.11／《現在》「身近な暮らしにフェーズフリー」
- ⑩ 12.11／《未来》「森の防波堤をデザインする」
- ⑪ 2022.1.11／《過現未》「過現未による防災対策」まとめ

【目的】2021年の今年、東日本大震災の10年目にあたり、これを機会に、地震・津波、台風・集中豪雨、コロナ感染症・鳥ウイルスなど《複合災害》について考える必要があります。それには、過去の出来事について復習・反省し、現在できることを行動し、さらに未来に向かって準備し対策することが必要です。安全安心で、持続可能ないすみ市をみなさんとともに作りたと思います。「フェーズフリー」や「森の防波堤」、そして「洋上風力発電」や「展望台付き風車」など、新しい話題があります。「上総まちなか大学院」は、それらを課題として、その解決への糸口を講師とともに考え、実践したいと思います。



大原文化センターへの
アクセス：JR外房線
大原駅下車、徒歩6分。
♥ いすみ市大原 7838
TEL 0470-63-1222



【参加】リアルの会場の講義参加、あるいはzoomでのオンライン講義参加ができます。《HP*で案内》
受講実績により証明書を発行します（受講証明書は有料となります）。

【主催】一般社団法人 洗楓座／上総まちなか大学院 【共催】イベント・バンキング運営組織委員会

【協賛】いたずら丸太工房・里山風景（木村廣志）、コスモ食品（株）

【後援】いすみ市、千葉日報社、NPO 太東崎燈台クラブ

【問合せ】kofuza@gmail.com / 090-1268-5882（佐藤建吉） / *<http://www.kofuza.com/html/act.html>